

国民スポーツ大会
関係 各位

公益財団法人日本スポーツ協会
国民スポーツ大会委員会
委員長 山本 浩

令和 6(2024)年度第 2 回国民スポーツ大会委員会決定事項等について(通知)

平素より当協会スポーツ推進事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る令和 6(2024)年 8 月 20 日に開催した標記委員会において、下記のとおり決定しましたのでご通知申し上げます。

なお、資料につきましては、日本スポーツ協会(JSPO)の HP にて PDF 版を公開いたします。

以下のページからダウンロードの上、ご参照ください。

URL:<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/1067/Default.aspx>

【決定事項】

1. 第 89 回大会本大会開催地 資料No.1

- 令和 17(2035)年に開催される標記大会について、三重県を開催申請書提出順序了解県、いわゆる内々定とすることが承認された。

2. 参加資格関係

(1) 第 79 回大会の参加資格、年齢基準等の解釈・説明 資料No.2-1

- 各大会の実施要項総則に基づき作成している大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明について、標記大会分について承認された。

<主な変更点>

- ①少年種別年齢域における外国籍選手の学校教育法第 1 条に規定する学校在席年数に関する基準の明確化
- ②公認スポーツ指導者資格の保有状況の文言修正
- ③外国籍選手のふるさと選手制度の利用の規程整備
- ④能登半島地震に係る特例措置の追記

(2) 第 79 回大会冬季大会予選会免除対象大会 資料No.2-2

- 当該大会の予選免除対象大会として、以下の 3 大会が承認された。なお、アイスホッケー、スケートについては、予選免除対象大会はなし。
- ①第 32 回 FISU 冬季ワールドユニバーシティゲームズ
- ②ワールドカップ(ジャンプ・コンバインド・クロスカントリー・アルペン)
- ③コンチネンタルカップ(ジャンプ・コンバインド)

3. 第 80 回大会本大会・冬季大会(青森県)関係 資料No.3

(1) 公式ポスター図案

- 大会スローガンの“縄文の風”をイメージし、作成されたポスター図案について承認された。

4. 第83回大会本大会(群馬県)関係…………… 資料No.4

(1) 大会愛称

- 大会愛称は「湯けむり国スポ・全スポぐんま」にて承認された。なお、スポンサー配慮により、大会ごとに「湯けむり国スポぐんま」、「湯けむり全スポぐんま」と使い分けることも併せて承認された。

【報告事項】

1. 今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議関係…………… 資料No.5

- 有識者会議のメンバーは34名、座長は、日本商工会議所の会頭である小林健氏が務めることを報告した。第1回の有識者会議は9月4日(水)を予定している。

2. 第78回大会本大会(佐賀県)関係

(1) SAGA2024 競技会場の名称変更…………… 資料No.6-1

- ネーミングライツの導入により、バレーボール及びハンドボール競技の会場名を変更。

(2) SAGA2024 選手の活躍にスポットを当てた表彰制度…………… 資料No.6-2

- 選手の活躍にスポットを当てた表彰制度「The Good Player of SAGA2024」の制度概要について報告。本制度の特徴は、以下の3点となる。各競技の表彰基準は、「新記録」、「MVP等の優秀選手」、「最高得点等の個人成績」、「個人優勝」などを考慮したものを基準とする。
 - ①競技ごとに表彰基準を設定し、選手を表彰する。
 - ②受賞者をSAGA2024のホームページに公表する
 - ③受賞者には、会場の副賞を贈呈し、受賞者を称えとともに、会場の魅力を発信する。

(3) SAGA2024 文化プログラムの追加・変更…………… 資料No.6-3

- 文化プログラムについて、令和5年度第4回委員会(令和6<2024>年3月5日開催)で承認された内容から変更が生じたが、事業実施数については、当初の予定通り227事業を行う予定。

(4) 諸会議日程…………… 資料No.6-4

- 全国報道員会議は書面にて9月中旬頃、総監督会議は10月4日(金)16時～リモートにて開催。

3. 第79回大会冬季大会スキー競技会(秋田県)関係…………… 資料No.7

(1) 実施要項の変更

- 令和7(2025)年に秋田県で開催される第79回大会冬季大会スキー競技会における実施要項については、令和6年度第1回委員会(令和6<2024>年6月4日開催)にて承認を得ていたが、一部文言について修正点が生じたため、報告。
 - ①「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」にて規定している日本に滞在する期間の例外表記について、「諸事情により」から「やむを得ない事情により」に文言を変更。
 - ②「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」において、第79回大会冬季大会に沿った内容に修正。
 - ③「交代・棄権届」の様式について、文言を修正。

4. 第79回大会本大会(滋賀県)関係……………資料No.8-1
- (1) 文化プログラム事業
- 文化プログラムを現時点では49事業行うことを報告。
- (2) 競技会会期の変更資料……………資料No.8-2
- ホッケー競技の会期を変更。
- (3) 競技会場の変更……………資料No.8-3
- (4) 競技会場名の変更……………資料No.8-4
- デモンストレーションスポーツのモルック競技、ユニホック競技において会場変更及び会場名を変更。
5. 第80回大会本大会(青森県)関係
- (1) デモンストレーションスポーツ競技会場の名称変更……………資料No.9
- ネーミングライツの導入により、デモンストレーションスポーツのカーリング、ターゲット・バードゴルフの会場名を変更。
- (2) 国民スポーツ大会記念切手(日本郵便ふるさと切手)関係……………資料No.10
- 日本郵便株式会社が国スポ開催を記念して発行する国民スポーツ大会記念切手(日本郵便ふるさと切手)について、第78回佐賀大会については9月4日から販売する。
6. 国スポパートナープログラム(協賛制度)関係
- (1) 第81回大会本大会(宮城県)協賛契約・協賛計画……………資料No.11-1
- 国スポにおける企業協賛は、JSPOと開催県が連携・協力し、「国民スポーツ大会企業協賛に関するガイドライン」に基づき行っており、9月に宮城県と契約締結に向け準備を進めている。
- (2) 第78回大会本大会(佐賀県)放送計画……………資料No.11-2
- 会期間中、佐賀県内でのテレビ等を放送する予定とすること、また、国スポのインターネット配信「国スポチャンネル」においては、各競技予選・決勝の約630試合を配信する予定。(昨年大会までは決勝のみ配信)。
- (3) 第78回大会本大会(佐賀県)看板掲出……………資料No.11-3
- 当該大会のトップ協賛企業JAPAN GAMESパートナーは、JSPOが5社、佐賀県が3社獲得している。対象企業の協賛特典である看板掲出について、総合開・閉会式及び15競技・種目延べ21会場にて看板掲出を行う予定。
7. 国民スポーツ大会における暑熱対策方針……………資料No.12
- 去る令和6(2024)年6月3日にJSPOから関係団体に送付している熱中症事故防止に関する通知を踏まえつつ、国スポ大会は、競技特性や式典のイベント特性を考慮し、個別柔軟に対応していく。

以上。